資料－４

KNBB工法

本技術は、従来、大型油圧ブレーカーで少量ずつ施工していた岩盤掘削を大型機械の組合せにより無発破で破砕し、大量の岩盤掘削による工期短縮を図るものである。

破砕機械は、割岩具「セリ矢」と「楔」を大型化したもので、施工機械 1 台にセリ矢の打撃と引抜き、および揚重移設の機能を持たせている。破砕原理は、パーカッションによる大きな破砕力、セリ矢の貫入によるエネルギーの蓄積、複数のセリ矢の合力を活かしている。本技術では、2t トン級のドロップハンマと特殊材質の大型クサビ(パワーウェッジとカウンターウェッジ)を用いており、従来のブレーカーでは掘削が難しかった硬岩をはじめとする岩盤掘削を低騒音・低振動で可能としている。

※ KNBB(Kusabi-striking Non-Blast Bench-cut)工法



